

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160586024301	科目番号 / Subject code	05860243
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 11111_005		
授業科目名 / Subject	微生物と人間社会 (医療現場における微生物) / Clinical microbiology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	柳原 克紀 / Yanagihara Katunori, 金子 幸弘 / Kaneko Yukihiro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 長谷川 寛雄 / Hasegawa Hiroo, 宇野 直輝 / Uno Naoki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	柳原 克紀 / Yanagihara Katunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	柳原 克紀 / Yanagihara Katunori, 金子 幸弘 / Kaneko Yukihiro, 長谷川 寛雄 / Hasegawa Hiroo, 宇野 直輝 / Uno Naoki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化・教育・経済・水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel	095-819-7574		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	医療現場では、ヒトの健康と微生物との関係を理解したうえで、病気を起こす微生物を見つけて対応している。どのような微生物がどのような理由で医療で重要視されているのかを認識することは、ヒトを取り巻く環境と医療との関係を考える上で重要である。微生物と社会全体の関係について多面的に考え、微生物への適切な理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	医療現場において微生物を検出することの意義について説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的に講義形式で行う。随時、口頭による質疑応答ならびにグループディスカッションを取り入れ理解度を深りながら進める。必要に応じて、ハンドアウトを配布する。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 (50%)、レポート (30%) および授業への積極的な参加・貢献度 (20%) から総合的に判断して成績評価を行う。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	微生物は、私たちの体にも共生している身近な存在ですが、感染症を起こして私たちの体調を崩したり時には命を落とすこともあります。医療はどのように「良い」微生物と「悪い」微生物を見分けているのでしょうか。そこにはこれまで培われてきた理由があります。切っても切り離せない微生物との関係を適切に理解して、微生物との上手なつきあい方を考えていきましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	身近な微生物について知る		
第2回	生活の中での微生物		
第3回	定着と感染		
第4回	免疫が果たす役割		
第5回	微生物とクスリ		
第6回	微生物の遺伝子をとらえる		
第7回	微生物と検査室 (1)		
第8回	微生物と検査室 (2)		
第9回	微生物と検査室 (3)		
第10回	微生物と腫瘍 (1)		
第11回	微生物と腫瘍 (2)		

第12回	微生物と腫瘍（3）
第13回	医療現場以外での微生物への対応
第14回	環境からヒトへ
第15回	グローバルな視点へ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160586024501	科目番号 / Subject code	05860245
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 11131_005		
授業科目名 / Subject	微生物と人間社会 (ヒトと微生物の関わり~もちつ、もたれつの関係性~) / Relation between human and microorganisms		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 田代 将人 / Tashiro Masato, 宮崎 泰可 / Miyazaki Taiga, 田中 章貴		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	泉川 公一 / Izumikawa Koichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 田代 将人 / Tashiro Masato, 宮崎 泰可 / Miyazaki Taiga, 田中 章貴		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koizumik@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 感染免疫学講座 臨床感染症学分野 長崎大学病院 感染制御教育センター 〒852-8501 長崎県長崎市坂本1-7-1 国際医療センター3階 TEL: (095) 819-7731 FAX: (095) 819-7766		
担当教員TEL/Tel	TEL: (095) 819-7731		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月-金曜日 8:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	微生物の中にはバイオテロ兵器などのようにヒトに危害を与えるものもあれば、酵母菌のようにヒトに恩恵を与えているものなどがあり、様々な形でヒトと微生物は関わりを持っているといえる。悪いとばかり言えない微生物の側面を理解して、共存していく道を模索すべきであるということ概要を概説する。地球においては、ヒトも微生物も同じ生物の一員であり、共存していく姿が望ましい。学生が人間社会の一員として、ヒトと微生物の関わりについて学習し、一方で、病気を起こしたり、悪用される側面についても理解し、病気を起こさない、感染症に罹らないための予防という側面の重要性を認識させる。		
授業到達目標 / Goal	微生物の種類と存在意義について説明できる		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式とグループ発表とディスカッションを取り入れ理解度を探りながら進める。必要に応じて、ハンドアウトを配布する。		
授業内容 / Class outline / Con	授業内容-1回 微生物とはその種類と数 (講義) 授業内容-2回 人と共存する微生物 腸内細菌とは? グループ発表 授業内容-3回 人と共存する微生物 ヨーグルトは役に立つのか? グループ発表とまとめ 授業内容-4回 人にとって有益な微生物 (講義) 授業内容-5回 人にとって有益な微生物 おいしいパン、納豆、醤油の作り方 グループ発表 授業内容-6回 人にとって有益な微生物 食品以外の有効利用 グループ発表とまとめ 授業内容-7回 人に病気を起こす微生物 (講義) 授業内容-8回 人に病気を起こす微生物 風邪とインフルエンザは違うのか? グループ発表 (1) 授業内容-9回 人に病気を起こす微生物 ワクチンって何? グループ発表 (2) 授業内容-10回 人に病気を起こす微生物 どんな微生物がどんな病気を起こすのか (講義) 授業内容-11回 人に病気を起こす微生物 空気であつる感染症 (結核) (講義) 授業内容-12回 人に病気を起こす微生物 どうやって直すの? グループ発表 (3) とまとめ 授業内容-13回 微生物の悪用 テロや戦争の道具として (講義) 授業内容-14回 微生物の悪用 バイオテロの歴史と科学の進歩 グループ発表とまとめ 授業内容-15回 人の微生物の関係・総括 (グループディスカッション) 授業内容-16回 定期試験		
キーワード / Key word	感染、微生物、共存		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 (50%)、および授業への積極的な参加・貢献度 (50%) から総合的に判断して成績評価を行う。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	エイズやエボラ出血熱など様々な怖い感染症が取りざたされていますが、「感染症=怖い」とは限りません。人と微生物はもちつ、もたれつに関係にあるとも言えます。ヒトも、微生物も、地球上における生き物の一員であることを学び、上手く共存するための手法についても考えて欲しいと願います。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	微生物とはその種類と数（講義）
第2回	人と共存する微生物 腸内細菌とは？ グループ発表
第3回	人と共存する微生物 ヨーグルトは役に立つのか？ グループ発表とまとめ
第4回	人にとって有益な微生物（講義）
第5回	人にとって有益な微生物 微生物の有効利用 グループ発表とまとめ
第6回	感染免疫～微生物の侵攻に対する生体反応～（講義）
第7回	人に病気を起こす微生物（講義）
第8回	人に病気を起こす微生物 風邪とインフルエンザは違うの？ グループ発表（1）
第9回	人に病気を起こす微生物 ワクチンって何？ グループ発表（2）
第10回	人に病気を起こす微生物 どんな微生物がどんな病気を起こすのか（講義）
第11回	人に病気を起こす微生物 空気うつる感染症（結核）（講義）
第12回	人に病気を起こす微生物 どうやって直すの？グループ発表（3）とまとめ
第13回	微生物の悪用 テロや戦争の道具として（講義）
第14回	微生物の悪用 バイオテロの歴史と科学の進歩 グループ発表とまとめ
第15回	人の微生物の関係・総括（グループディスカッション）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160586024701	科目番号 / Subject code	05860247
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 11121_005		
授業科目名 / Subject	微生物と人間社会 (エイズについて考える) / Review of problems related to HIV/AIDS		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 教行 / Nishida Noriyuki, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 石橋 大輔 / Ishibashi Daisuke, 田口 謙 / Taguchi Yuzuru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西田 教行 / Nishida Noriyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西田 教行 / Nishida Noriyuki, 石橋 大輔 / Ishibashi Daisuke, 田口 謙 / Taguchi Yuzuru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化社会学部など		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribaci@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医学部感染分子解析学		
担当教員TEL / Tel	095-819-7059		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜午後4時半		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	AIDSという社会問題について考えることを通して、正確な情報の収集、分析、問題発見、問題解決思考を身につける		
授業到達目標 / Goal	ウイルスとはなにか述べることができる。 HIVとはどんな特徴を有するウイルスか、述べることができる。 日本、および世界のエイズの現状について、情報に基づいて記述できる 人類のエイズとの戦いの今後の課題について自分の考えを述べることができる		
授業方法 (学習指導法) / Method	グループワークを中心に。プレゼン資料作成、レポート作成などを指導する。		
授業内容 / Class outline/Con	HIV感染が起こすAIDSについて、世界の現状、日本での問題点、などを学ぶ。グループワークを中心にアクティブラーニングを実践する。		
キーワード / Key word	AIDS, HIV		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	出席およびレポートにて総合評価予定		
受講要件 (履修条件) / Requirements	なし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/mmi/cmb/		
学生へのメッセージ / Message for students	エイズを始め重要な感染症について学ぶ意欲のある人に受講してほしい。		